

島根県邑南町 一町全体で取り組む一体的実施

町の概況(令和5年6月30日時点)

人口	9,784人
高齢化率	45.5%
後期被保険者数	2,670人
日常生活圏域数	3圏域

実施体制

保健課(主担当課)

一体的実施事業の企画・調整担当
健康増進、国保、後期高齢者保健
事業担当

町民課

一体的実施全体の総括
国保・後期高齢者医療担当

医療福祉政策課

介護予防事業担当

連携

町内医療機関、社会福祉協議会、ボランティア、自主グループ、NPO等

邑南町マスコットキャラクター



オオナン・ショウ

取組の経緯

- 人口減少や高齢化が進む中、健康寿命の延伸を目指し高齢者の健康管理や介護予防を進める効果的な体制整備が課題だったが、保健課は主に74歳までの方を対象とした保健事業を、現在の医療福祉政策課は介護予防事業をそれぞれに実施しており、庁内連携が十分に図れていなかった。
- 一体的実施の制度改正を機に、庁内関係課の課長を含め、事業の趣旨や邑南町の現状と体制的な課題を共有し、検討を重ねた結果、町の課題を解決し、町民にとってより効果的な支援を提供するために実施に至った。

企画調整・関係機関との連携

- **庁内連携**
保健課・町民課・医療福祉政策課の3課において、実務者会議(定期的開催)および課長を含む管理者会議(年数回)を開催し、事業の推進及び共有を図っている。
- **医療関係団体等との連携**
事前にかかりつけ医と歯科医を訪問し、事業の説明と協力依頼を行っている。
- **島根大学との連携**
大学が特定健診や集いの場で実施した体力テストの結果などを分析し、町の計画策定の参考としたり、保健事業のエビデンスとして町民への啓発に活用している。

ハイリスクアプローチ

- **低栄養予防**
初回訪問で、生活状況、栄養状態の状況を把握し、対象者とともに目標を立てる。1~2か月後に電話あるいは訪問で、生活や食事の状況・体重の変化を確認する。3か月後、体重変化や食品摂取状況等目標に対する評価を行う。
- **生活習慣病重症化予防(その他)**
健診の結果、Ⅱ度高血圧以上、HbA1c8%以上で医療機関未受診者に対して、受診勧奨、生活状況の把握、保健指導を行う。3か月後にレセプトで医療機関受診状況を確認し、未受診者については、再度勧奨を行う。
- **健康状態不明者**
事前にアンケートを郵送し、状況把握を行う。初回訪問で生活・健康状態や心身の機能を把握し、相談、健診の受診勧奨を行う。必要に応じて適切な医療・通いの場、本人の同意のもと介護サービスにつなげる。健診の申し込み状況やレセプトから受診状況を確認し、電話や訪問で再度状況把握と勧奨を行う。

ポピュレーションアプローチ

- **複合的取組**
通いの場において、低栄養予防(管理栄養士)、運動機能低下予防(健康運動指導士、作業療法士)、フレイル対策・圏域の健康課題、歯科口腔機能低下予防(保健師)についての健康教育や実技を実施する。
後期高齢者の質問票による現状把握や体力チェックを行い、参加者の健康状態や生活機能を把握する。
その結果をもとに生活機能の向上のために指導を行う。状態に応じて個別に健康相談を行い、健診や医療への受診勧奨、地域包括支援センター等につなげる。
通いの場のリーダー(ボランティア)と地域の実情に応じて参加者の健康面や不安等について気軽に相談が行えるよう関係づくりに配慮している。また、庁内関係課、社会福祉協議会合同で研修会を開催し、自主運営を支援している。



ボランティア研修会

島根県邑南町

事業結果と評価概要（令和4年度結果）

		対象者数	参加者数	評価指標	状況（評価結果）
ハイリスクアプローチ	低栄養防止	6	2	①体重の維持、改善率 ②食生活の課題に対する目標達成率	・体重維持・増加の割合：33% ・年度内に最終評価が実施できなかったため、行動変容があった人の割合は評価不能
	口腔機能低下防止	2	2	①咀嚼率向上率 ②行動変容率 ③歯科治療必要者の歯科受診率	①年度途中に実施方法を変更したため評価不能 ②歯科口腔健診につながった割合：14.5% ③歯科受診につながった割合：50%
	生活習慣病重症化予防	4	4	医療機関受診率	医療機関受診につながった割合：25%
	健康状態不明者の把握	24	22	①健診受診につながった割合 ②地域包括支援センターと連携が必要だと把握・つながった割合	①年度末に事業を実施したため評価不能 ②4.2%
ポピュレーションアプローチ	その他複合的取組	-	延1,064	①体力テストの変化(握力、体重、歩行能力) ②高齢者の質問票による身体状況の変化(生活の満足度、口腔状況)	前年度からの比較 ①握力 男性：握力増加18.2%、維持18.2% 女性：握力増加20.6%、維持27.5% ①TUGテスト 男性：改善なし (歩行能力) 女性：改善者26% ②栄養状況：変化なし 口腔状況：咀嚼は18.5%改善、むせは4.2%悪化

課題・今後の展望

- 今後も引き続き、庁内関係課と課題の共有、目標設定、効率・効果的な事業計画・分担、評価を定期的に行い、一体的実施の体制を確立することを目指す。ポピュレーションアプローチについては、医療福祉政策課や社会福祉協議会と既存の通いの場の整理を行い、自主グループへの働きかけや必要な場につながるように仕組みづくりを行う。
- ハイリスクアプローチを進めていくためには、ターゲットを絞った健診の受診勧奨を行い、疾病の発症予防、重症化予防やフレイルを早期に発見・対応する仕組みづくりを行い、医療機関や関係団体と連携を図っていきたい。